2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上場会社名　株式会社トランスジェニックグループ　　上場取引所　東
コード番号　2342　URL https://transgenic-group.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 福永　健司
問合せ先責任者　(役職名) 取締役 経理財務部長　(氏名) 渡部　一夫　https://transgenic-group.co.jp/contact/

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(決算説明動画(録画)配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	7,069	13.6	161	126.7	102	23.2	88	199.5
2026年3月期中間期	6,224	△1.4	71	―	83	―	29	―

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　69百万円　(256.4%)　2026年3月期中間期　19百万円　(―%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	5.31	―
2026年3月期中間期	1.77	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	9,854	4,917	49.3
2026年3月期	9,735	4,839	49.1

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　4,860百万円　2026年3月期　4,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	6.3	260	88.5	200	69.3	150	―	9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	16,999,141 株	2026年3月期	16,999,141 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	307,922 株	2026年3月期	345,922 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	16,666,301 株	2026年3月期中間期	16,653,219 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象の注記） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しにより緩やかな回復基調が続きました。一方で、継続的な物価上昇に加え、原材料・エネルギー価格の高止まりや人件費・物流費等のコスト増加、為替相場の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

創薬支援事業につきましては、臨床試験や付加価値の高い発がん性試験などの非臨床試験の受注に注力するとともに、試験も概ね予定通り完了いたしました。また、神戸研究所の閉鎖を見据えて同研究所の遺伝子改変マウス事業及び大動物薬理事業の機能移転・再配置に向けた準備を進めるとともに、事業運営の合理化によるコスト削減に努めました。この結果、前年同期比で増収となり、損失幅も縮小いたしました。

投資・コンサルティング事業につきましては、Ｅコマース事業の市場環境が好転し、売上高が前年同期比で増加いたしました。また、卸売販売等の商社事業においては大型受注案件が完了したほか、製造等事業も需要の取り込みや価格転嫁に注力したことにより売上高が伸長いたしました。さらに、各事業においてコスト管理に努め、前年同期比で大幅な増収・増益となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は7,069,846千円（前年同期比13.6％増）となり、営業利益につきましても161,857千円（前年同期比126.7％増）となりました。経常利益につきましても、受取利息などの営業外収益14,316千円及び支払利息などの営業外費用73,615千円を計上した結果、102,558千円（前年同期比23.2％増）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益につきましても、法人税、住民税及び事業税18,644千円、法人税等調整額△7,956千円（△は利益）及び非支配株主に帰属する中間純損失3,316千円などを計上した結果、88,492千円（前年同期比199.5％増）となりました。

①　創薬支援事業

当事業は、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスをグループで展開しております。

当中間連結会計期間は、受託試験が概ね予定通り進捗いたしました。また、事業構造に即して最適化した人員配置等の事業運営の合理化によりコスト削減も実施いたしました。この結果、売上高は975,969千円（前年同期比4.1％増）となり、前年同期比で増収となりました。また、営業利益につきましても48,569千円の損失（前年同期は75,224千円の損失）となり、前年同期比で損失幅が縮小いたしました。

②　投資・コンサルティング事業

当事業は、Ｍ＆Ａによる投資先子会社においてＥコマース事業、商社事業及び製造等事業を展開するほか、幅広い分野における事業承継及び事業再生に係る助言・支援サービスを行っております。

当中間連結会計期間は、Ｅコマース事業において、市場環境の改善に伴う流通量の回復を捉えた結果、小売販売の売上高は前年同期比で増加いたしました。また、卸売販売等の商社事業において、大型受注案件が完了したほか、製造等事業も需要の取り込みや価格転嫁に注力したことにより、前年同期比で売上高が伸長いたしました。さらに、各事業において適正な在庫及びコスト管理に努めました。この結果、売上高は6,096,991千円（前年同期比15.3％増）となり、前年同期比で大幅な増収となりました。また、営業利益につきましても294,299千円（前年同期比20.1％増）となり、前年同期比で大幅な増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は6,879,010千円となり、前連結会計年度末に比べ170,311千円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が71,161千円、電子記録債権が280,571千円、商品及び製品が152,319千円、仕掛品が147,866千円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が41,249千円、原材料及び貯蔵品が47,553千円、前渡金が327,231千円、それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は2,975,537千円となり、前連結会計年度末に比べ51,122千円減少いたしました。これは主に、固定資産の償却により有形固定資産が28,311千円、のれんの償却等により無形固定資産が23,769千円、それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は4,122,643千円となり、前連結会計年度末に比べ274,210千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が940,000千円、買掛金が30,838千円、それぞれ増加した一方、１年内償還予定の社債が109,000千円、未払法人税等が33,669千円、前受金が422,485千円、受注損失引当金が89,769千円、その他の流動負債が49,588千円、それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は814,622千円となり、前連結会計年度末に比べ232,512千円減少いたしました。これは主に、返済により長期借入金が223,118千円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産は4,917,281千円となり、前連結会計年度末に比べ77,491千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益を88,492千円計上した一方、その他有価証券評価差額金が14,992千円減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（単位：千円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△568,787	△591,477	△22,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,758	△42,459	△6,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	261,322	587,705	326,383
フリー・キャッシュ・フロー（注）	△604,546	△633,936	△29,390
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,198,191	2,058,422	△139,768

（注）営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは591,477千円の支出となりました。これは、税金等調整前中間純利益95,864千円に必要な調整項目を加減して算定しております。その主な加算要因は、前渡金の減少額327,231千円及び非資金費用である減価償却費の計上額50,115千円であります。一方、主な減算要因は、売上債権の増加額351,732千円、棚卸資産の増加額252,632千円、前受金の減少額422,485千円、受注損失引当金の減少額89,769千円、未払費用の減少額93,907千円及び法人税等の支払額52,541千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは42,459千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出22,804千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは587,705千円の収入となりました。これは主に、短期借入金の増加940,000千円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出236,479千円により資金が減少したためであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予測につきましては、2026年５月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,134,967	2,093,717
受取手形、売掛金及び契約資産	1,114,914	1,186,075
電子記録債権	52,116	332,688
商品及び製品	1,573,910	1,726,230
仕掛品	764,954	912,821
原材料及び貯蔵品	133,740	86,186
前渡金	764,022	436,791
その他	171,667	106,607
貸倒引当金	△1,594	△2,108
流動資産合計	6,708,698	6,879,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,014,647	983,827
土地	917,473	917,473
その他（純額）	59,492	61,999
有形固定資産合計	1,991,612	1,963,300
無形固定資産		
のれん	484,252	460,488
その他	21,720	21,714
無形固定資産合計	505,972	482,203
投資その他の資産		
投資有価証券	224,466	201,601
その他	315,525	337,185
貸倒引当金	△10,917	△8,752
投資その他の資産合計	529,075	530,034
固定資産合計	3,026,660	2,975,537
資産合計	9,735,359	9,854,547

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	415,622	446,460
未払金	227,802	250,481
短期借入金	565,000	1,505,000
１年内償還予定の社債	109,000	－
１年内返済予定の長期借入金	462,356	448,995
未払法人税等	51,414	17,745
前受金	1,405,738	983,252
賞与引当金	64,676	63,241
受注損失引当金	109,399	19,630
その他	437,424	387,836
流動負債合計	3,848,433	4,122,643
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	902,556	679,438
退職給付に係る負債	70,822	69,070
その他	23,757	16,114
固定負債合計	1,047,135	814,622
負債合計	4,895,569	4,937,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	3,856,375	3,851,701
利益剰余金	850,407	938,899
自己株式	△116,016	△103,286
株主資本合計	4,640,766	4,737,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,442	90,449
為替換算調整勘定	33,788	33,040
その他の包括利益累計額合計	139,230	123,489
新株予約権	200	200
非支配株主持分	59,592	56,276
純資産合計	4,839,789	4,917,281
負債純資産合計	9,735,359	9,854,547

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	6,224,853	7,069,846
売上原価	5,001,037	5,764,230
売上総利益	1,223,815	1,305,615
販売費及び一般管理費	1,152,410	1,143,758
営業利益	71,405	161,857
営業外収益		
受取利息	1,881	2,586
為替差益	35,407	4,332
受取保険金	2,525	1,152
その他	6,587	6,245
営業外収益合計	46,402	14,316
営業外費用		
支払利息	26,448	27,782
デリバティブ評価損	247	44,765
その他	7,863	1,066
営業外費用合計	34,559	73,615
経常利益	83,248	102,558
特別利益		
固定資産売却益	－	1,177
受取補償金	10,596	－
過年度消費税等戻入額	26,832	－
特別利益合計	37,428	1,177
特別損失		
固定資産除却損	－	748
事業再編損	34,599	7,123
特別調査費用等	29,512	－
特別損失合計	64,112	7,872
税金等調整前中間純利益	56,563	95,864
法人税、住民税及び事業税	30,603	18,644
過年度法人税等	10,262	－
法人税等調整額	4,958	△7,956
法人税等合計	45,823	10,688
中間純利益	10,740	85,176
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△18,807	△3,316
親会社株主に帰属する中間純利益	29,547	88,492

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	10,740	85,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△503	△14,992
為替換算調整勘定	9,246	△747
その他の包括利益合計	8,742	△15,740
中間包括利益	19,483	69,435
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	38,290	72,752
非支配株主に係る中間包括利益	△18,807	△3,316

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	56,563	95,864
減価償却費	51,446	50,115
のれん償却額	23,564	23,564
貸倒引当金の増減額（△は減少）	467	△1,651
賞与引当金の増減額（△は減少）	△6,117	△1,434
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△60,883	△89,769
受取利息及び受取配当金	△1,961	△3,680
支払利息	26,448	27,782
売上債権の増減額（△は増加）	△613	△351,732
棚卸資産の増減額（△は増加）	△515,775	△252,632
仕入債務の増減額（△は減少）	26,953	30,838
前渡金の増減額（△は増加）	66,768	327,231
未払金の増減額（△は減少）	3,722	33,017
前受金の増減額（△は減少）	△78,967	△422,485
未払費用の増減額（△は減少）	△39,292	△93,907
その他	△49,870	113,676
小計	△497,546	△515,203
利息及び配当金の受取額	1,705	3,160
利息の支払額	△26,345	△28,921
法人税等の支払額	△50,857	△52,541
法人税等の還付額	4,256	2,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	△568,787	△591,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△540	△540
有形固定資産の取得による支出	△22,481	△22,804
その他	△12,737	△19,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,758	△42,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	50,000	－
社債の償還による支出	△7,000	△109,000
短期借入金の増減額（△は減少）	395,000	940,000
長期借入れによる収入	120,000	－
長期借入金の返済による支出	△272,688	△236,479
リース債務の返済による支出	△5,748	△3,466
長期未払金の返済による支出	△3,418	△3,192
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△14,688	－
配当金の支払額	△134	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	261,322	587,705
現金及び現金同等物に係る換算差額	△323	4,442
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△343,547	△41,789
現金及び現金同等物の期首残高	2,541,738	2,100,212
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,198,191	2,058,422

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	創薬支援事業	投資・コンサルティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	934,711	5,290,141	6,224,853	－	6,224,853
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,000	62	3,062	△3,062	－
計	937,711	5,290,204	6,227,916	△3,062	6,224,853
セグメント利益又は損失（△）	△75,224	245,102	169,878	△98,472	71,405

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,472千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	創薬支援事業	投資・コンサルティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	972,969	6,096,877	7,069,846	－	7,069,846
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,000	113	3,113	△3,113	－
計	975,969	6,096,991	7,072,960	△3,113	7,069,846
セグメント利益又は損失（△）	△48,569	294,299	245,730	△83,872	161,857

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△83,872千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象の注記）

（固定資産の譲渡）

当社は、連結子会社である株式会社トランスジェニックの神戸研究所閉鎖に伴い、経営資源の有効活用及び資本効率の向上を図るため、当社が所有する固定資産（土地・建物等）を譲渡することといたしました。

１．譲渡資産の内容

資産の名称	株式会社トランスジェニック　神戸研究所
所在地	神戸市中央区港島南町七丁目1番地14
面積	土地　5,000.44㎡ 建物　3,072.82㎡
譲渡価額	1,266,820千円
帳簿価額	912,112千円（2026年９月30日現在）
譲渡益（予定）	310,000千円

※　譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額と譲渡に係る費用等の見積額を控除した概算額です。

２．譲渡先の概要

譲渡先は、国内の事業法人でありますが、譲渡先の意向により公表を控えさせていただきます。

なお、譲渡先と当社、その他当社の関係会社との間に特筆すべき資本関係、人的関係及び取引関係はございません。また、当社の関連当事者には該当いたしません。

３．譲渡の日程

取締役会決議日	2026年11月４日
契約締結日	2026年11月９日
引渡期日	2026年12月１日（予定）

４．当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、2027年３月期第３四半期の連結決算において、固定資産売却益として約310,000千円を特別利益に計上予定であります。